

この地球に、まだ四季はあるのか
ヴィヴァルディ《四季》への応答——
気候変動の時代にローザスが放つ、
自然と音楽への静かなる問いかけ

Rosas

イル・チメント・デッラルモーニア・エ・デッラ・インヴェンツィオーネ

Il Cimento dell'Armonia e dell'Invenzione

和声と創意の試み

Anne Teresa De Keersmaecker, Radouan Mriziga / Rosas, A7LA5

アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケル, ラドワン・ムリジガ / ローザス, アトラファイブ

2026.6.24 Wed. 18:30開演(開場:18:00)

会場:アマノ芸術創造センター名古屋

主催:愛知県芸術劇場(公益財団法人愛知県文化振興事業団)、中日新聞社
共催:公益財団法人名古屋市文化振興事業団(アマノ芸術創造センター名古屋)
共同招聘:彩の国さいたま芸術劇場、ROOMシアター京都 | 後援:駐日ベルギー王国大使館

主催:

愛知県芸術劇場
芸術監督 唐津絵理

2025年に高松宮殿下記念世界文化賞を受賞した世界的振付家アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケルと、鋭敏の振付家ラドワン・ムリジガが、ヴィヴァルディ《四季》を起点に創り出す新作。

2024年に発表され、〈ローザス〉の人気作となった本作が、ついに日本初上陸を果たします。

緻密な音楽分析をもとに振付を構築するケースマイケルと、沈黙の中から動きを立ち上げるムリジガ。4人のダンサーによる跳躍、旋回、回転は、天体の軌道や生命の循環と呼応するように展開します。約300年前の地中海から響く自然賛歌の楽曲と共に、作品はその構造と身体との関係を更新しながら、いま私たちが直面する気候変動の現実を詩的に問いかけます。

“何気なく、しかし知的に構築される、90分間のダンスの幾何学” ★★★★★

—英/フィナンシャル・タイムズ紙

Il Cimento dell'Armonia e dell'Inventione

和声と創意の試み

Anne Teresa De Keersmaeker, Radouan Mriziga / Rosas, A7LA5

振付:アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケル、ラドワン・ムリジガ

共同創作・出演:ボシュチャン・アントニッチ、ナシーム・パダグ、ラヴ・クルンチェヴィッチ、ホセ・パウロ・ドス・サントス

音楽:アントニオ・ヴィヴァルディ《四季》

録音:アマンディーヌ・ペイエ、リ・インコーニティ Alpha Classics / Outthere Music (2015)

音楽分析:アマンディーヌ・ペイエ

詩:アスマー・ジャマ「We, the salvage」、アントニオ・ヴィヴァルディ「Le quattro stagioni」

世界初演:2024年5月11日ローザス・パフォーマンス・スペース(ブリュッセル) | 共同初演:ド・ミュント/ラ・モネ、カーイテアター、クンステンフェスティバル



アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケル
Anne Teresa De Keersmaeker

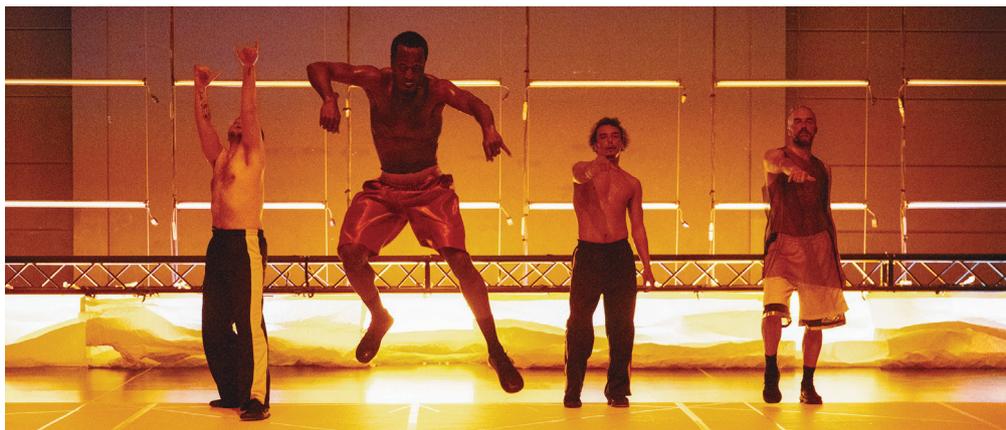
Rosas

1960年生まれ。ブリュッセルのムードラおよびニューヨーク大学ティッシュ・スクール・オブ・ジ・アーツでダンスを学んだ後、1980年に初の振付作品『アッシュ』を発表。2年後には『ファーズ〜ステイヴ・ライヒの音楽による4つのムーブメント』を初演。1983年にはブリュッセルにてダンスカンパニー〈ローザス〉を設立し、『ローザス・ダンス・ローザス』を発表した。以降、ケースマイケルの創作は、ダンスと音楽の関係を厳格かつ多角的に探求することを基盤としている。1995年には、ブリュッセルのラ・モネ劇場と提携し、パフォーマンス・アーツの教育機関P.A.R.T.S.を設立し、アーティスト育成にも力を入れている。

ラドワン・ムリジガ
Radouan Mriziga



1985年モロッコ生まれ。マラケシュとチュニジアでダンスを学んだ後、P.A.R.T.S.にて研鑽を積み、2012年に卒業。その後、〈ローザス〉『ツイトツング』の再構築プロジェクトなど、国際的振付家の作品に参加し経験を重ねる。2014年より本格的に自身の創作活動を開始し、ソロ作品『55』、グループ作品『3600』『7』などを発表。ブリュッセルのカーイテアターや、アントワープのデ・シゲル・レジデンス・アーティストを務め、『Atlas』『Libya』『Aka』ほか、注目作を次々と発表している。2019年〈アトラファイブ〉設立。ケースマイケルとは2020年の『3IRD5 @ W9RK』に続く協働となる。



2026年6月24日[水] 18:30開演
アミノ芸術創造センター名古屋
6:30 PM on Wednesday 24, June 2026
Amano Performing Arts Center Nagoya
※上演時間:約90分(休憩なし)



公演情報詳細

チケット料金(全席指定/税込):
S席 8,000円/S席U25 4,000円
A席 6,000円/A席U25 3,000円

チケット取り扱い:

・愛知県芸術劇場オンラインチケットサービス*

・愛知芸術文化センタープレイガイド(地下2階)*

TEL: 052-972-0430 10:00-19:00

土日祝休10:00-18:00(月曜定休/祝休日の場合は翌平日)

※メンバーズは★印の窓口にて1日早く購入できます。

・チケットぴあ[Pコード:539-878]

・アミノ芸術創造センター名古屋 TEL: 052-931-1811

休館日(原則月曜日)を除く9:00-20:00

・名古屋市文化振興事業団チケットガイド

TEL: 052-249-9387 平日9:00-17:00/チケット郵送可

・名古屋市文化振興事業団が管理運営する文化施設窓口

(土日祝日も営業)

※工事休館等がありますので、ウェブサイトでご確認ください。

※購入方法により、チケット料金のほかに手数料が必要になる場合があります。



オンラインチケット

チケット発売日:2026年3月27日[金]10:00

※U25は公演日に25歳以下対象(要証明書)

※車椅子席は劇場事務局(お問合せ先)にて取扱ひ。

※未就学児入場不可。託児サービスあり(有料・要予約)。

愛知県芸術劇場ウェブサイトにてご確認ください。

※一部の座席で舞台が見えにくい場合があります。

※開演後はしばらくの間入場できない場合や、

自席にご案内できない場合があります。

※やむを得ない事情により公演等に変更が生じる場合がございます。

障がいのあるお客さまへのサポートとして、
事前にプログラムのデータをEメールでお送りできます。
ご希望の方は、愛知県芸術劇場お問合せ先にご連絡ください。



主催:愛知県芸術劇場(公益財団法人愛知県文化振興事業団)、中日新聞社
企画・制作:愛知県芸術劇場(公益財団法人愛知県文化振興事業団)
共催:公益財団法人名古屋市文化振興事業団(アミノ芸術創造センター名古屋)
共同招聘:彩の国さいたま芸術劇場、ロームシアター京都
後援:駐日ベルギー王国大使館



ツアー情報

6月19日[金]-21日[日] 彩の国さいたま芸術劇場

19(Fri)-21(Sun), June, Saitama Arts Theater

6月27日[土]-28日[日] ロームシアター京都

27(Sat)-28(Sun), June, ROHM Theatre Kyoto



アクセス:

アミノ芸術創造センター名古屋

〒461-0004 名古屋市中区葵1-3-27

TEL 052-931-1811

<https://www.bunka758.or.jp/facility/geijutsusouzou/>

・地下鉄東山線「新栄町」下車1番出口を北へ徒歩3分

・地下鉄桜通線「高岳」下車3番出口より東へ徒歩5分

主催・お問合せ:

愛知県芸術劇場(公益財団法人愛知県文化振興事業団)

TEL. 052-211-7552(10:00-18:00) FAX. 052-971-5541

〒461-8525 名古屋市中区東桜1-13-2

E-mail contact@AAF.or.jp

<https://www-stage.aac.pref.aichi.jp>

※6月の月曜日は電気設備点検のため休館します。

WEBサイトの閲覧やFAX受信ができない場合があります。